

海とヒトの関係学⑥

編 秋道 智彌 山梨県立富士山 世界遺産センター所長 / 阪口 秀 (公財) 笹川平和財団 海洋政策研究所長
 著 窪川かおる 帝京大学先端総合 研究機構客員教授

海のジェンダー平等へ

発売中

海にまつわる様々な問題を各方面の専門家たちが俯瞰的に考え、解決への道筋を提言する「海とヒトの関係学」シリーズ。



海とヒトの関係学 ⑥
海のジェンダー平等へ
 編者 秋道智彌・窪川かおる・阪口 秀

SDGs目標5 「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る」

海は男の世界と言われていた。性差の隔りが大きいこの言葉は過去のものであり、それに替わるのが、海洋でのジェンダー平等である。本書は執筆者を女性に軸を構成し、その実現を目指す。

西日本出版社 定価(税込)1,700円+税

海は男の世界と言われていた。性差の隔りが大きいこの言葉は過去のものであり、それに替わるのが、海洋でのジェンダー平等である。本書は執筆者を女性に軸を構成し、その実現を目指す。

なぜ大切なのか
 平等を実現
 海は男の世界と言われていた。性差の隔りが大きいこの言葉は過去のものであり、それに替わるのが、海洋でのジェンダー平等である。本書は執筆者を女性に軸を構成し、その実現を目指す。

- A5 判260P
- ISBN978-4-908443-48-0
- 本体価格1,700円+税

執筆は、女性研究者17名。

かねてより海は男の世界と言われていました。

しかし、海洋問題の解決を促進し、人間社会の持続可能性を担保するためには、ジェンダー平等が不可欠です。

ジェンダーギャップ指数で常にランキング下位争いとなっている日本が、海のジェンダー平等を目指すにはどうするべきか。世界の現状を知り、考察していきます。



海洋でジェンダー平等を実現することはなぜ大切か

1.ジェンダー論の地平

生の起源一性と 性転換する海洋生物一性と言う戦略 男と女をつなぐ舟 ポリネシアにおける多様な性の共生

2.海洋保護の最前線で

タイのジュゴン保護区と漁民 スナメリを音響で追いかける サンゴ礁漁撈文化の知恵と物語を紡いで

3.海のジェンダー平等へ

漁村女性のネットワークの展開と今後 男性中心から男女共同参画へ ミクロネシアから考えるジェンダー平等 女性たちをエンパワーするために 流れを変えるー海のジェンダー平等へ

FAX での
ご注文
(受注センター)

FAX : 06-6310-7057
(TEL : 06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202
HP : www.jimotonohon.com/
●発行/西日本出版社

書店名(番線)	補充注文	海とヒトの関係学⑥	注文数(注文品)	冊	ご担当
		海のジェンダー平等へ			様
		■著者：秋道智彌、窪川かおる、阪口 秀 ■A5 判 260p ■本体価格 1700 円+税 ■ISBN 978-4-908443-48-0			日付
大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057					■発売/西日本出版社

書店名(番線)	補充注文	海とヒトの関係学①日本人が魚を食べ続けるために	注文数(注文品)	冊	ご担当
		海とヒトの関係学②海の生物多様性を守るために		冊	様
		海とヒトの関係学③海はだれのものか		冊	日付
		海とヒトの関係学④疫病と海		冊	
		海とヒトの関係学⑤コモンスとしての海		冊	
大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057					■発売/西日本出版社